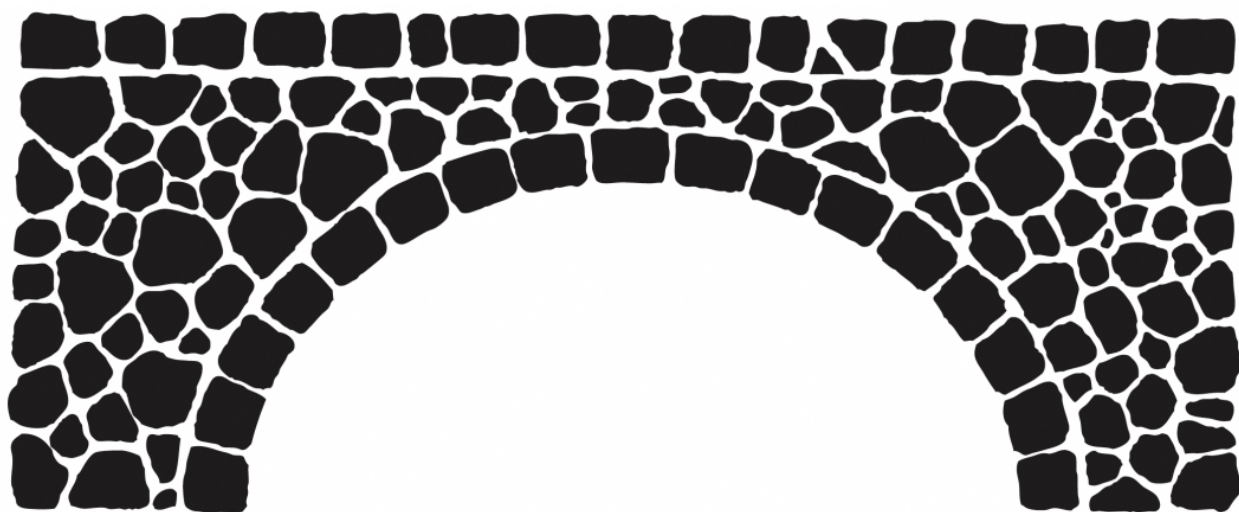


石五の郷

ブランディング戦略

石五の郷に息づく石造りのレガシー

八代を創造した 石五たちの軌跡



令和3年3月

八代市日本遺産活用協議会

石互の郷

ブランディング戦略

石互の郷に息づく石造りのレガシー

八代を創造した 石互たちの軌跡

第1章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略の概要

- (1) 策定の背景 --3
- (2) 策定の目的 --3

第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

- (1) 基本理念 --4
- (2) ブランディング用イメージ --5
- (3) 施策体系 --7
- (4) 具体的なアクションプラン
 - 1. 食べて触れて感じる石工の郷の文化 --8
 - ① 石工の郷スイーツ開発
 - ② 石工の郷ご当地グルメ開発
 - ③ 石工の郷グッズ開発
 - 2. 身近に感じる石工の郷の文化 --10
 - ① 構成文化財で“体験”の仕掛け
 - ② 子ども達への接点づくり
 - ③ 写真・動画を増やす仕掛け
 - ④ 身近に根ざすための取組
 - ⑤ 事業プランコンテスト
 - 3. 発信し呼び込む石工の郷の文化 --13
 - ① 日本遺産を巡るツアー企画
 - ② ガイド育成とご案内の仕掛け
 - ③ 伝わる発信の仕掛け
 - ④ 多角度から伝える石工の郷の迫力
 - ⑤ メディアを通じた情報発信
 - 4. 守り伝える石工の郷の文化 --16
 - ① 次の世代に繋ぐための整備
 - ② 歴史文化遺産の保護に関する取組の推進
 - ③ 訪れやすい場所への整備

第3章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略【重点事業】

- (1) 重点事業の推進 --18
 - 重点事業① 石工の郷の文化を守り伝える仕組み
 - 重点事業② 石工の郷の体感文化をつくる仕掛け
 - 重点事業③ 石工の郷の文化を魅力的に伝える仕組み
 - 重点事業④ 石工の郷の情報が積み上がる場づくり
- (2) 展開スケジュール --23

第1章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略の概要

(1) 策定の背景

かつて全国で築かれた「めがね橋」を今も多く見ることが出来る熊本。それらの多くは、八代で生まれ育った石工たちによって手掛けられました。

彼らの卓越した手腕は日本各地で必要とされ、「神田筋違橋（萬世橋）」や「通潤橋」などの架設を成功に導き、全国に名声を轟かせるまでに至りました。それ故に、八代は、多くの「名石工」を輩出した「石工の郷」と呼ばれています。

石工たちは、八代に広大な平野と豊かな実りをもたらした「干拓事業」や、地域の交通を支えた「めがね橋」の架設などに携わり、八代の発展と人々の生活基盤づくりに長きにわたって貢献する中で、己の技を磨き上げ、名もなき石工から名石工へと成長していきました。

彼らが築いた堅牢な干拓樋門、川面に美しいアーチを描くめがね橋、見事な棚田の石垣などの石造りのレガシーは百余年たった今も、まちの景観や人々の暮らしの中に生き続けています。



そうした八代各地に残る石造りの文化に関する構成文化財24件を物語として紡いだ「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー」が、令和2年6月19日に日本遺産として認定されました。



「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、日本各地のそれぞれの歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものとして、平成27年度に事業が開始され、計104件が認定されています（令和2年6月現在）。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

(2) 策定の目的

日本遺産認定を契機に認定ストーリーを核とした八代ならではの歴史文化の魅力を感じることができるシステムを、地域と来訪者との交流により生み出し、日本遺産の魅力や価値ある商品として構築を図り、安定した経済活動活動へと繋げていくために「八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略」（以下、本戦略）の策定を行います。

本戦略は、行政の取り組みのみならず、市民や事業者など地域を構成する様々な主体がそれぞれの立場から参加し、相互に連携・協働しながら個性ある取り組みを形作っていく事を狙いとしています。

第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

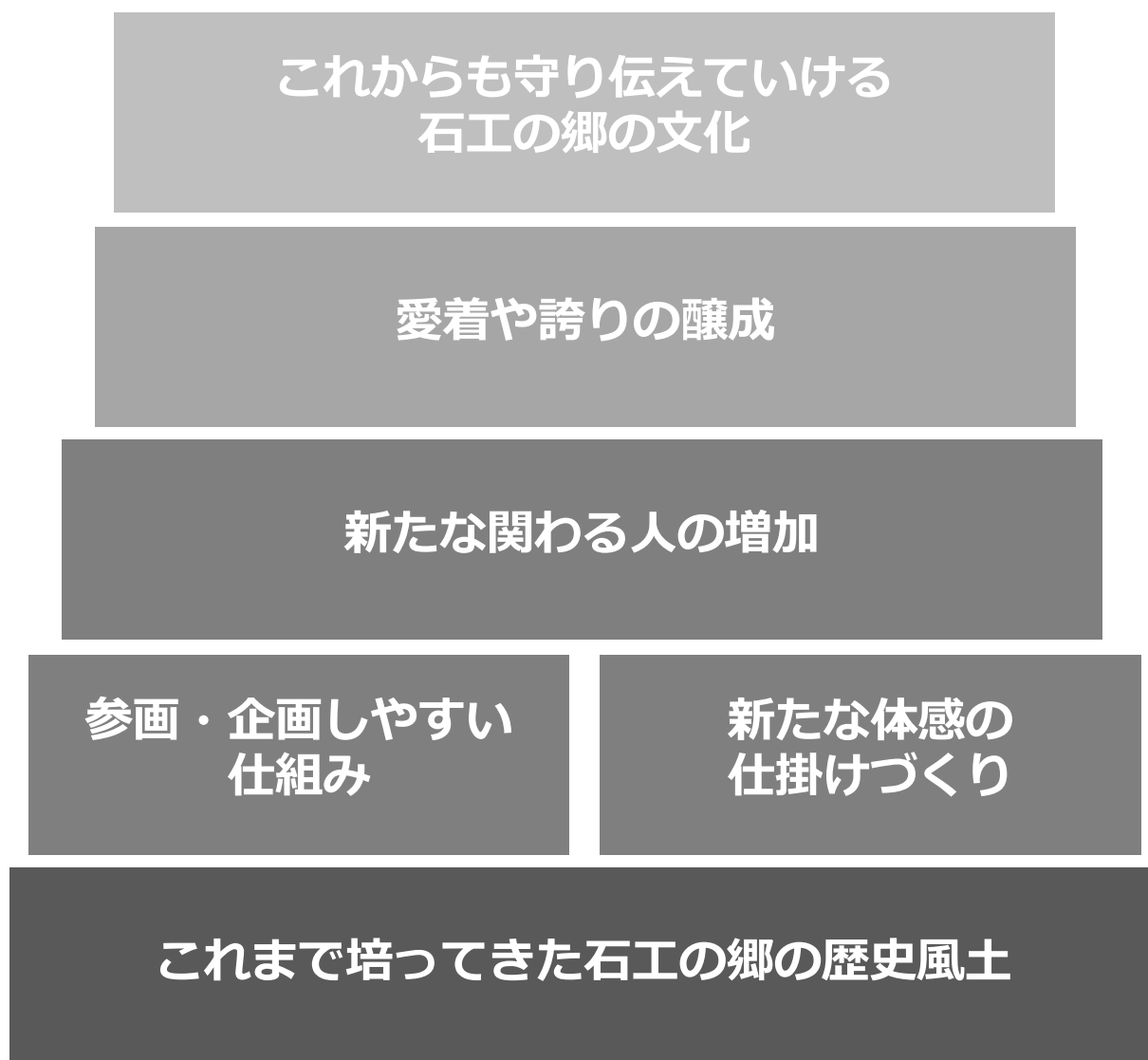
(1) 基本理念

本戦略を推進していく上で、次の基本理念（コンセプト）をもとに事業を実施していきます。

活動を通じ 共に積み上げる 石工の郷の体感文化

「これまで」積み重ねて来た地域の歴史文化の魅力を活かしながらも、その上に「これから」の新たな文化を積み重ねていきます。そのためにも新たな石工の郷の歴史風土や文化を体感できる仕組みを設けることにより、体感した住民や来訪者が愛着を抱き、また新たな文化を生み出していく好循環づくりを目指していきます。

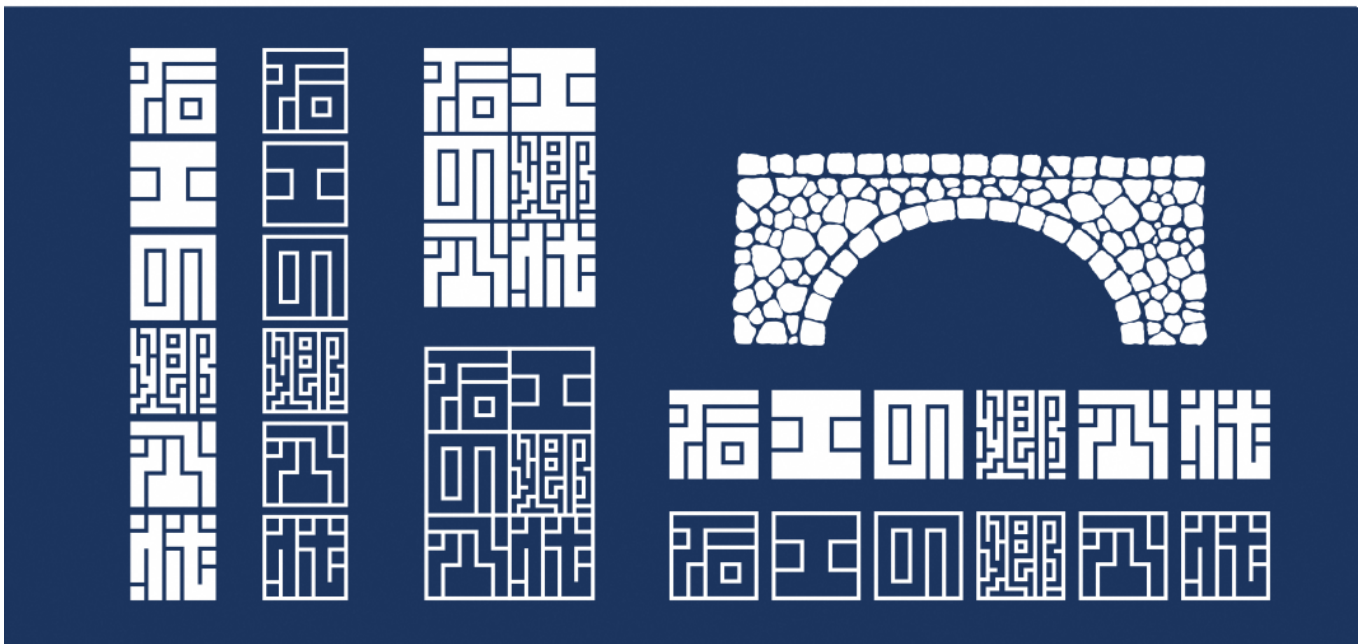
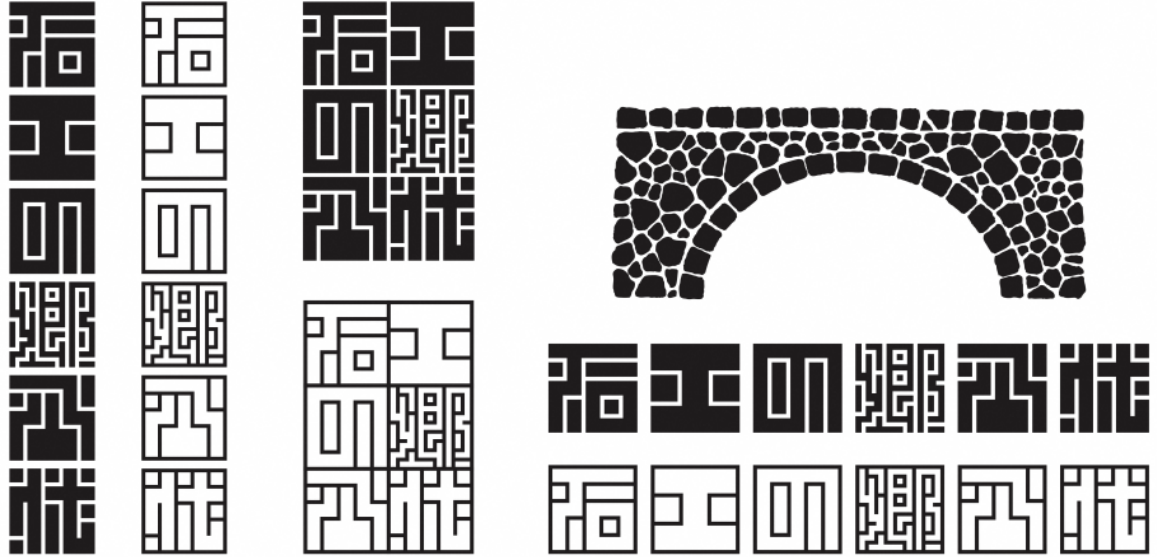
◆ コンセプトのイメージ ◆



第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

(2) ブランディング用イメージ

本戦略を推進していく上で、次のブランディング用イメージをもとに活動していきます。



八代を創造した石五たちの軌跡

石五の郷に負づく
石造りのレガシー

石五の郷に負づく石造りのレガシー

八代を創造した
石五たちの軌跡

石五の郷に負づく石造りのレガシー

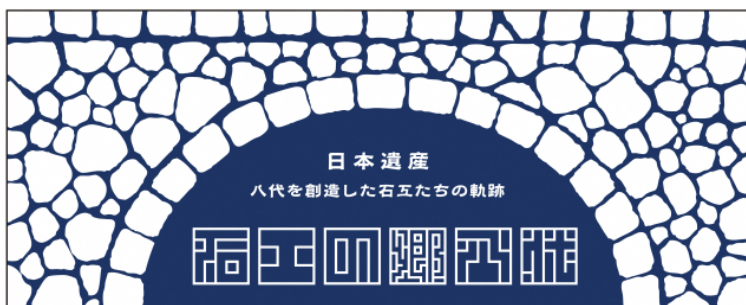
八代を創造した石五たちの軌跡

石五の郷に負づく
石造りのレガシー

第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

▼展開イメージ（案）

てぬぐい



のぼり



テーブルクロス



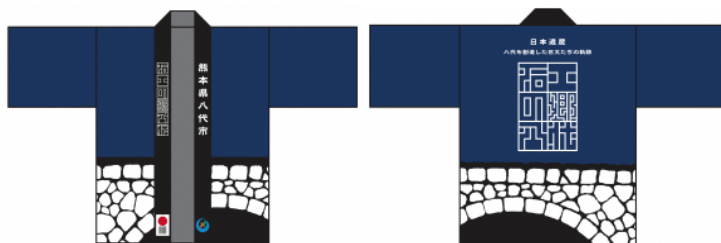
ピンバッチ



シール



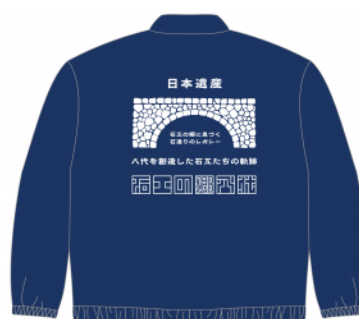
法被



ステッカー



ジャンパー



ポロシャツ



第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

(3) 施策体系

本戦略を推進していく上で、次の基本戦略・施策をもとに事業を実施していきます。

1. 食べて触れて感じる石工の郷の文化

- ① 石工の郷スイーツ開発
- ② 石工の郷ご当地グルメ開発
- ③ 石工の郷グッズ開発

2. 身近に感じる石工の郷の文化

- ① 構成文化財で“体験”の仕掛け
- ② 子ども達への接点づくり
- ③ 写真・動画を増やす仕掛け
- ④ 身近に根ざすための取組
- ⑤ 事業プランコンテスト

3. 発信し呼び込む石工の郷の文化

- ① 日本遺産を巡るツアー企画
- ② ガイド育成とご案内の仕掛け
- ③ 伝わる発信の仕掛け
- ④ 多角度から伝える石工の郷の迫力
- ⑤ メディアを通じた情報発信

4. 守り伝える石工の郷の文化

- ① 次の世代に繋ぐための整備
- ② 歴史文化遺産の保護に関する取組みの推進
- ③ 訪れやすい場所への整備



4つのリーディングプロジェクト（重点事業）

- 重点事業① 石工の郷の文化を守り伝える仕組み
- 重点事業② 石工の郷の体感文化をつくる仕掛け
- 重点事業③ 石工の郷の文化を魅力的に伝える仕組み
- 重点事業④ 石工の郷の情報が積み上がる場づくり

第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

(4) 具体的なアクションプラン

本戦略を推進していく上で、次の具体的なアクションプランをもとに実施していきます。

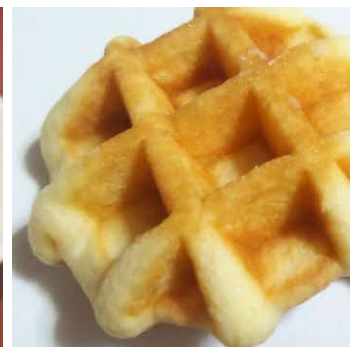
1. 食べて触れて感じる石工の郷の文化

① 石工の郷スイーツ開発

より身近に日本遺産を感じて貰うためお土産品・お菓子・スイーツの商品化や既存商品のリデザインを推進します。商品化を行う過程では、製造・販売する事業者が必要になるため、開発グランプリや支援制度を設けて、商品化が促進する仕組みを構築します。さらには、販売する拠点や地元の素材を使いやすいように調整を図り、商品化しやすい環境を整えていきます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * めがね橋などの歴史文化遺産を模したお菓子の開発
- * 既存商品のパッケージ等の変更
- * 石工のお菓子をテーマにした開発グランプリ
- * 石工のお菓子商品化支援制度



※イメージ画像

第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

② 石工の郷ご当地グルメ開発

日本遺産の構成文化財は八代各地に点在しており、市内全域を回遊して頂く仕掛けが重要です。飲食事業者と調整を図り「石を使った石グルメの開発」やテーマを定めた飲食店フェアなどの開催を行っていきます。また、より商品化を加速させるためにも、開発グランプリや支援制度などを整えて行きます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 地域の食事を使った料理教室の開催
- * 石グルメ開発と飲食店と連携したフェアの開催
- * 石工の郷ご当地グルメをテーマにした開発グランプリ
- * 石工の郷ご当地グルメ商品化支援制度



※イメージ画像

③ 石工の郷グッズ開発

現在のところ石工の郷をテーマにしたお土産品などが少ないため、めがね橋を模した商品や関連するグッズなどの商品化を推進します。特産であるい草を使った商品などの商品化を促進すると共に、八代市内の道の駅などにも販売・PRコーナーを設けるなど販売が行いやすい仕掛けも調整します。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * めがね橋などの文化財を模したグッズ、お土産品の開発
- * 石工の郷グッズをテーマにした開発グランプリ
- * 石工の郷グッズ商品化支援制度



※イメージ画像

2. 身近に感じる石工の郷の文化

① 構成文化財で“体験”の仕掛け

東陽笠松橋公園でのランチや、ヨガなどのイベントなど構成文化財の周辺で「体験」ができる企画づくりを進めていきます。訪れるだけでは感じる事ができない魅力を様々な体験を通して発信することで、これまで興味がなかった方も呼び込みます。また史跡以外にもい草や生姜を使った体験など地域の文化を体感できる企画も検討していきます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 東陽笠松橋公園でのランチ等の企画
- * 構成文化財周辺での石積みコンテストなどの体験企画
- * めがね橋を実際に作る体験企画
- * い草などの収穫体験企画



※イメージ画像



第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

② 子ども達への接点づくり

現在も学習の一貫として東陽石匠館などに訪れる児童・生徒がいます。これまで以上に市内の学校が日本遺産や地域の歴史文化を知り、学ぶ機会を提供するために、自由研究などでテーマにしやすいようなガイドラインなどの作成や、清掃ボランティアなどに参加できる仕組みを構築します。さらには、子ども達を対象とした絵画コンテストや造詣コンテストなどを開催し子ども達が関心を示す入口となるきっかけを作っていきます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 市内学校へ教育機会提供
- * 先生を対象としたモニターツアーの調整
- * 清掃活動などへの参画の仕組み
- * 自由研究、研究テーマへの訴求
- * 子ども向け絵画、造詣コンテスト等の開催
- * 子どもにも伝わりやすいガイドブックなどの制作



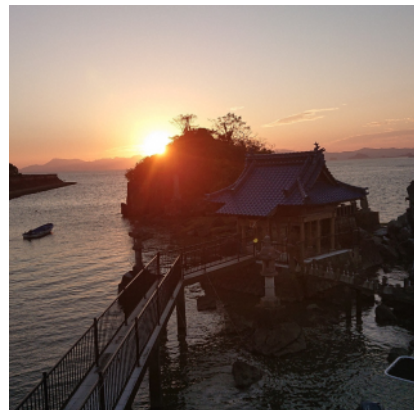
※イメージ画像

③ 写真・動画を増やす仕掛け

めがね橋などの構成文化財は季節毎に違った顔があり、写真を撮る場所としても素晴らしい情景をみせてくれます。写真を趣味とするカメラマンや一般の方々が構成文化財の写真を発信しやすいように、フォト・動画コンテストなどの企画を開催します。さらには、撮影した写真や動画が集まり利用することもできるプラットフォームなどを構築し、自発的な情報発信が起こりやすい仕掛けを作ります。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * フォト、動画コンテストなどの開催
- * 活用できるフリー素材プラットフォームづくり



第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

④ 身近に根ざすための取組

八代市民が日本遺産がある事や、他地域に誇れる歴史文化がある事をより広く認識して貰うためにも、知る・関わるキッカケづくりを行っていきます。市民をターゲット（対象）とした「八代石工の日」や「石橋サミット」など、わかりやすい企画を通してそのキッカケづくりを推進します。さらには、マイ文化財を決めて清掃などに協力したり支援する橋守制度など検討していきます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 八代石工の日の制定
- * 石橋サミットの開催
- * 橋守制度の検討



⑤ 事業プランコンテスト

様々な取り組みを進めるためにも、市内で日本遺産の認知度を高めるためにも市内の事業者などを巻き込み、共に取り組みを加速する必要があります。自ら企画を考え実行に移して貰いやすい環境を作るために、事業プランコンテストの開催や開発費・事業費の一部を支援するような支援制度を設け自発的に取り組みが起りやすい仕掛けを構築します。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 石工に関連する事業プランコンテスト
- * 石工に関連する取組の支援制度



※イメージ画像



第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

3. 発信し呼び込む石工の郷の文化

① 日本遺産を巡るツアー企画

点在する構成文化財を回遊する仕掛けとして、ガイドを交えたバスツアー等の開催を行います。構成文化財だけでは無く、周辺の飲食店や道の駅を起点とし、八代全体を楽しめる仕掛けを作ります。またウォーキングやサイクリングなどで周ることができるようモデルコースの提案や、ウォーキングイベントなどの開催を図り楽しみ方の提案を進めていきます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 日本遺産を巡るガイドツアーの開催
- * 日本遺産や周辺を回るバスツアーの開催
- * 構成文化財を回遊するウォーキングの企画
- * 構成文化財を回遊するサイクリングの仕掛けづくり



※イメージ画像

② ガイド育成とご案内の仕掛け

構成文化財周辺の住民が訪れた人に史跡のご紹介を行ったり、バスの添乗員やウォーキング企画などのご案内できるスキルを身につけるためのガイド育成を推進します。さらには、訪れた人が現地でガイド動画など視聴できる仕組みをつくり、訪れた際に日本遺産の魅力が伝わる仕掛けを行います。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 日本遺産を学ぶ勉強会、ガイド講座の開催
- * 構成文化財を案内するガイド動画などの仕掛けづくり
- * 構成文化財を案内するガイドブックなどの作製



第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

③ 伝わる発信の仕掛け

今後さらに積極的な情報発信を図っていくにあたり、統一したロゴデザインや、訴求のイメージなどを統一していきます。分かりやすく伝えるための「#ハッシュタグ」なども設け、より伝わりやすい情報発信を進めます。そのためにも、特設のHPやSNSなども活用し情報の統一や情報のワンストップ窓口を設けていきます。

一展開する取り組み項目（案）一

- * 情報発信用のロゴやイメージなどの制作と統一
- * 「#ハッシュタグ」の統一
- * 日本遺産ガイドブックの制作
- * 情報発信用のHP・SNSの開設

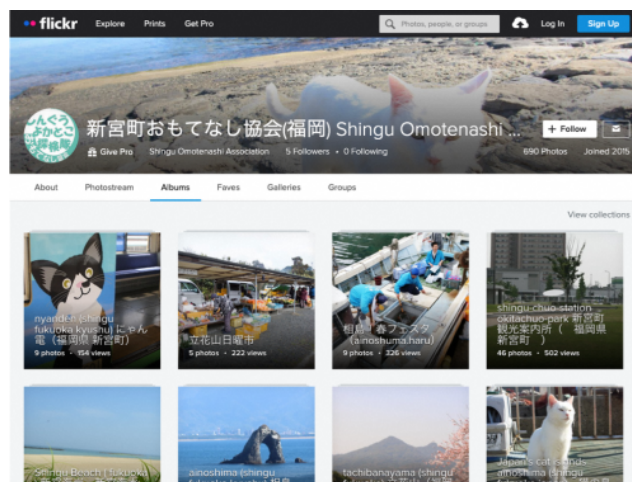


④ 多角度から伝える石工の郷の迫力

白髪岳天然石橋など歩いては訪れにくい文化財や、多角度からめがね橋を撮影するなどドローンを活用した構成文化財の撮影を進めていきます。さらにVR・AR技術なども活用して今までには無かった訴求の方法を提案していきます。また、写真・動画とも同様に活用できる素材などが集まるプラットフォームづくりを進めて自発的な発信も促していきます。

一展開する取り組み項目（案）一

- * ドローンによる多角度からの構成文化財の撮影
- * VRを活用した多角度からの構成文化財視聴の整備
- * 活用できるフリー素材プラットフォームづくり



※イメージ画像

第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

④ メディアを通じた情報発信

情報発信を行う上でもメディアとの連携が必要となります。さまざまな取り組みを取材頂けるようにプレスリリースなどの仕組みの構築を図ります。さらには、フィルムコミッションなどへの働きかけも行っていきます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * プレスリリースの仕組み構築
- * メディアやフィルムコミッションなどへの働きかけ



※イメージ画像

第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

4. 守り伝える石工の郷の文化

① 次の世代に繋ぐための整備

現在、構成文化財の維持管理については、地域の有志の方々が進めています。高齢化も進み今後の継続的な活動が課題となっています。清掃や草刈りなどを行うための仕組みの検討を行っていきます。また、主要な施設である東陽石匠館の魅力向上に向けた取り組みや、道の駅などから誘客できる連携の仕組みを検討していきます。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 構成文化財の維持・管理の仕組み調査、継続の仕組み検討
- * 道の駅からの誘導の仕掛けや連動企画の開催
- * 東陽石匠館の魅力UPに向けた取り組み

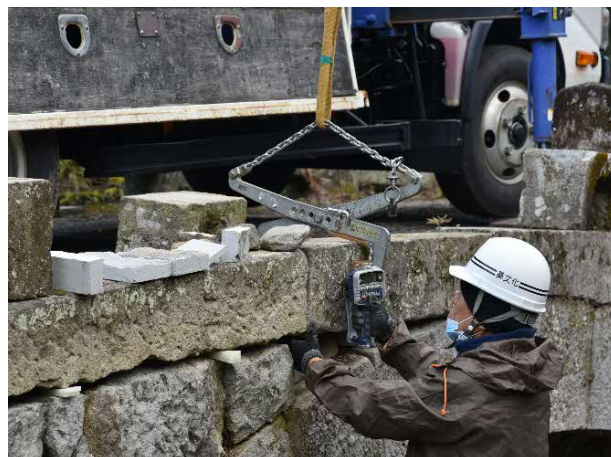


② 歴史文化遺産の保護に関する取組の推進

八代市内の日本遺産の魅力をさらに高めるために、認定ストーリーの深掘りや地域の歴史文化の特徴把握、また災害への備えも目的とした構成文化財の調査や、関連する石切り場等の現地調査を行うなど、日本遺産の更なる魅力創出と歴史文化遺産の保護に関する取組みを推進します。

— 展開する取り組み項目（案） —

- * 構成文化財や周辺の歴史文化遺産の調査
- * 石工道具等の状況把握調査、三次元計測による記録調査等



第2章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略

③ 訪れやすい場所への整備

現在、構成文化財は駐車場がない場所や、案内看板が無くその所在がわかりにくい箇所などが多くあります。アクセス環境の整備や案内看板などの設置などを進めることで訪れやすい場所へと整備を進めていきます。

一展開する取り組み項目（案）一

- * 構成文化財周辺のアクセス環境の改善策の検討
- * 構成文化財周辺の案内看板などの整備



第3章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略【重点事業】

(1) 重点事業の推進

各種施策の中で優先順位が高い4つの取り組み項目を、早期（概ね5年以内）に取り組む重点事業と位置づけ、実施していきます。

フラッグシップ（旗艦）的な事業とする！

■重点事業とは、フラッグシップ（旗艦）として、本戦略の実行にあたり、方向性を内外に伝えるものであります。それにより市内外の方の興味をひくとともに、住民に対してのメッセージ効果の高い事業としなければなりません。

■重点事業の実施により、新たな賛同者や担い手の創出につながります。また、以降の取り組みが次々と起こる波及効果が生まれることを狙います。

早期に取り組むことが可能！

■早期に活動を実践し、その成果を実感することで、必要とされる人材や取り組みのわかりやすい道しるべとなります。

■重点事業は、すでに先導的取り組みが行われていることや意欲を有している担い手の存在があることなどの有無が、選択の判断基準となります。

関連性をもたせて、一体的に推進！

■個々の取り組みをそれぞれで完結させるのではなく、次の取り組みにつながるものとして、関連性のある一体的なプロジェクトとするものであります。それぞれの活動を連携させることによって、相乗効果を生み出すことができます。

住民も楽しむことができる！

■重点事業は、取り組みのきっかけであり、かつ継続的な取り組みへの発展を促すものとならなければなりません。

■継続的な取り組みへの発展を促すため、来訪者の増加、経済効果の向上など具体的な効果をあげるものとなります。住民自身も活動に参加し、誇りや楽しみを実感できるものを重点事業とします。

4つのリーディングプロジェクト（重点事業）

- 重点事業① 石工の郷の文化を守り伝える仕組み
- 重点事業② 石工の郷の体感文化をつくる仕掛け
- 重点事業③ 石工の郷の文化を魅力的に伝える仕組み
- 重点事業④ 石工の郷の情報が増える場づくり

重点事業① 石工の郷の文化を守り伝える仕組み

日本遺産の認定ストーリーの深掘り調査や三次元計測等による構成文化財の記録調査は、災害時の迅速な復旧につながることから、最優先で取り組む必要があります。

また、各構成文化財へのアクセス環境の改善に向けた課題整理や、案内看板などの整備などを早期に行っていきます。構成文化財周辺の清掃活動などについては、地域住民の方々と共に清掃活動などに取組む橋守制度の構築や、学生などとも連携した清掃ボランティアの活動などを立ち上げていきます。



一 関連施策一

- * 子供への接点づくり
- * 次の世代に繋ぐための整備

- * 身近に根ざすための取組
- * 訪れやすい場所への整備

【令和3年度】

- ・ 三次元計測等による構成文化財の記録調査
- ・ 周辺環境の整備に向けた課題把握、目指すべき整備計画の検討
- ・ 案内看板の調査、整備計画の検討
- ・ 橋守制度の要項の検討、団体等との調整
- ・ 学校などとの連携方法の検討、調整

【令和4年度】

- ・ 案内看板の整備
- ・ 橋守制度の施行、運営
- ・ 学校ボランティアなどの展開

【令和5年度】

- ・ 駐車場の整備
- ・ 案内看板の整備
- ・ 橋守制度の運営
- ・ 学校ボランティアの運営

第3章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略【重点事業】

重点事業② 石工の郷の体感文化をつくる仕掛け

石工の文化をテーマにした「スイーツ・ご当地グルメ・グッズ」などの商品化を推進するためにテーマ別の開発グランプリを開催します。合わせて、構成文化財周辺での体験企画やイベントなどが各所で実施しやすいように事業コンテストの開催や、四季折々な写真・動画が集まるコンテストを行います。また開発した商品の販売に繋がる販売場所などの調整や、飲食店と連携したフェア開催などを実施します。さらには、石工の郷の歴史文化の定着を図るための石橋サミットなどの検討を行います。



※イメージ画像

一関連施策一

- * 石工の郷スイーツ開発
- * 石工の郷グッズ開発
- * 写真・動画を増やす仕掛け
- * 石工の郷ご当地グルメ開発
- * 構成文化財で"体験"の仕掛け
- * 事業プランコンテスト

【令和3年度】

- ・コンテストの要項などの検討
- ・販売場所などの調整

【令和4年度】

- ・コンテストの開催
- ・飲食店と連携したフェアの検討
- ・石橋サミットの検討

【令和5年度】

- ・コンテストの開催
- ・飲食店と連携したフェアの開催
- ・石橋サミットの開催

第3章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略【重点事業】

重点事業③ 石工の郷の文化を魅力的に伝える仕組み

点在する構成文化財をより魅力的に感じて貰うための日本遺産を巡るツアーの開催や、構成文化財周辺の住民が、来訪者から尋ねられた際にお答えできる知識を身につける勉強会の開催を行っていきます。また、現地を訪れた際にガイド動画を視聴できる仕掛けの整備やガイドブックの作製なども進めます。さらには市内の学生などが学ぶキッカケをつくるための仕掛けを市教育委員会などと連携して推進していきます。



一関連施策一

- * 子供への接点づくり
- * ガイド育成とご案内の仕掛け

* 日本遺産を巡るツアー企画

【令和3年度】

- ・ 日本遺産に関する勉強会の開催
- ・ ガイドバスツアーなどの企画、開催
- ・ 学生が学ぶキッカケづくりへの協議、調整

【令和4年度】

- ・ 日本遺産に関する勉強会の開催
- ・ 現地でのガイド動画、ガイドブック作製

【令和5年度】

- ・ 日本遺産に関する勉強会の開催

第3章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略【重点事業】

重点事業④ 石工の郷の情報が積み上がる場づくり

今後さまざまな取り組みを行っていく日本遺産に関連する情報が一元的に集まる場として特設のHPやSNSなどの立ち上げを行います。合わせて違った角度から見る事ができるドローン動画や、VR・AR技術を活用した構成文化財の視聴方法などの整備も行い、特設HPなどを通じて発信を行っていきます。また様々な取り組みの情報を一元的に集めて、メディアなどへの情報提供も推進します。



一関連施策一

- * 写真・動画を増やす仕掛け
- * 多角度から伝える石工の郷の迫力
- * 伝わる発信の仕掛け
- * メディアを通じた情報発信



【令和3年度】

- ・ 特設HP,SNSの立ち上げ
- ・ 「#ハッシュタグ」の検討
- ・ プレスリリースの仕組み構築

【令和4年度】

- ・ 特設HP,SNSの運用
- ・ メディアへの働きかけ

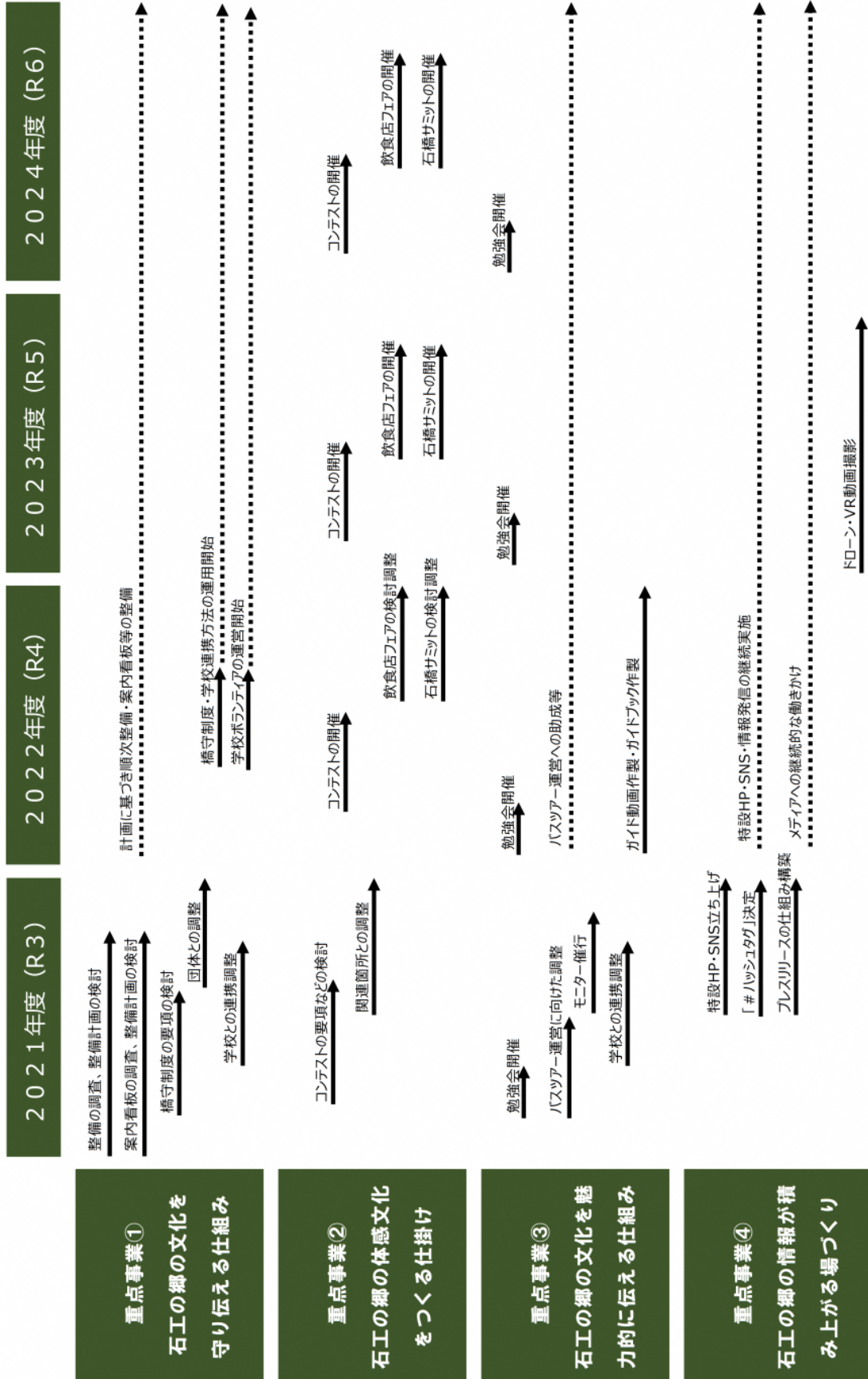
【令和5年度】

- ・ 特設HP,SNSの運用
- ・ ドローン、VRの動画撮影
- ・ メディアへの働きかけ

第3章 八代を創造した石工たちの軌跡ブランディング戦略【重点事業】

(2) 展開スケジュール

重点事業を軸に下記の展開スケジュールにて実施していきます。



巻末資料

1. 勉強会・ワークショップ等開催記録
2. 参考資料～活用会議（ワークショップ）からの事業項目素案

1. 勉強会・ワークショップ等開催記録

■ 勉強会・ワークショップ等開催記録

名称	開催日	主な内容
第1回 活用会議	令和2年 12月18日	日本遺産を活かし住民・企業・地域が元気になるまちづくりというテーマのもと、アイデアパートナーズ(株) 代表取締役 井手修身氏の講演と、意見交換を行うワークショップを実施。
第2回 活用会議	令和3年 1月13日	日本遺産を観光や産業にどのように活かすかというテーマのもと、文化庁日本遺産フォローアップ委員会委員長 丁野朗氏の講演と、意見交換を行うワークショップを実施。

12/18 金 講演会 & ミニ座談会

場所 桜十字ホールやつしろ (やつしろハーモニーホール) 時間 17:00-19:00

1 講演会 (60分) 日本遺産を活かし 住民・企業・地域が元気になるまちづくり

講師 井手 修身 (アイデアパートナーズ株式会社)

九州を中心に旅館の再生支援や、観光・集客事業などの地域活性化プランニングに携わる会社を創業。九州の地域振興に関する様々な施策や会議の委員やアドバイザー等を務める。

2 講演会 (60分) 活用を考えるミニ座談会

講演も踏まえ八代で日本遺産をどのように活かしていくのか方向性の意見交換を行います。

※可能な限り両日ご参加をお願いします。

1/13 水 講演会 & ミニ座談会

場所 桜十字ホールやつしろ (やつしろハーモニーホール) 時間 17:00-19:00

1 講演会 (60分) 日本遺産を 観光や産業にどのように活かすか

講師 丁野 郎 (文化庁日本遺産フォローアップ委員会委員長)

シンクタンクを経て余暇開発センター入所。サマータム制度、バカンス制度などの実現化に係る事業推進をはじめ、地域の産業資源を活用した産業観光などの事業を数多く実施。

2 講演会 (60分) 活用を考えるミニ座談会

講演も踏まえ八代で日本遺産の活用に向けた具体的な手法やアイデアの意見交換を行います。

※新型コロナ対策を考慮し人数制限のもと実施しますので予定人数に達した場合、締め切らせて頂きます。また当日は、マスクの着用や手指の消毒、換気などにご協力頂きます。

八代市石工の郷日本遺産 活用会議

これからの文化を積み上げるのはわたし達

2020年6月八代市に点在する石橋や樋門、それらを作ってきた石工の郷の文化・歴史などのストーリーが日本遺産に認定されました。これを契機に、これまでに以上に石造りの文化を体感できる仕組みづくりや、地域と来訪者の交流の仕組みなどをより進めて行きたいと考えています。今後の活用の展開を考えるにあたり、市民の多方面の方々のこれまでに活動・取り組みを更に結びつけ、より魅力的な取り組みをしていくために、講演会&座談会にぜひご参加ください。

皆さまから頂いたアイデアやご意見を元に今後の活用の方法をまとめ、実行にうつしていきます。

お申し込み

1 WEB: QRコード先よりお申し込み下さい
2 FAX: 092-739-6081 (お名前・所属・お電話番号をお知らせください)
事務局: アイデアパートナーズ株式会社 092-739-6080

主催

八代市日本遺産活用協議会 (八代市文化振興課内) TEL0965-33-4533



■ 戦略検討ワークショップ開催記録

名称	開催日	主な内容
戦略検討ワークショップ	令和2年 2月9日	活用会議にて複数起案頂いた事業項目素案を元に、戦略としての優先順位や実現可能性などを評価し、戦略の素案を検討。

2. 参考資料～活用会議（ワークショップ）からの事業項目素案

カテゴリー	取組の名称	取組の概要
食に絡んだ取り組み	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	石橋を作るキットを作成し、お菓子で橋を作る
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	自作石橋を作って食べよう!!
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	グッズや石橋や灯籠を模した食べ物やスイーツの開発。
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	グッズの開発。石橋を組み立てる教育用キットの製作。石橋や灯籠を模したスイーツや食べ物の開発・販売。
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	例えば、石匠館にある石橋の模型をチョコレートで作り、積み木みたいに積んで遊んだり仕組みを理解したあとに食べられるようにすると大人も子供も楽しめる良いお土産になると思います。
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	お城をイメージした、パームクーヘン、チョコレートブロック、羊羹を販売
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	石橋スイーツとして石橋チョコ（固い絆、不動の愛、長年連れ添った奥様へ）
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	武者返しのような石橋を模したスイーツ、グルメ開発
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	JK向けの石橋スイーツ開発
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	お土産として石橋づくりキットの木製などのパズル。チョコレートなどの石橋づくり。
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	特産品でいえば「石のように固いジンジャークッキー」、「石橋パズルチョコ」
	お菓子で作る石橋・お城・灯籠キット	石灰岩や凝灰岩風のお菓子の開発。
	石を生かした定食・メニューづくり	名物の定食づくり（石を活用など）
	石を生かした定食・メニューづくり	地域資源（食材）×石文化＝グルメによるPR
	生姜・い草を活用した食品開発	い草を使用した、スムージー、パン、クッキー、うどんや、い草の香りをつけた包装など
	生姜・い草を活用した食品開発	い草や生姜を使った食べ物を作る
	生姜・い草を活用した食品開発	い草でラーメンを作って欲しい
	生姜・い草を活用した食品開発	しょうがの佃煮アピール
	文化・地元食材を活用した料理教室	和食の中島氏が選んだ料理の活用
	文化・地元食材を活用した料理教室	「氷川生姜」を活用した保存食品に特化した料理教室（生姜佃煮、生姜の甘酢漬、生姜ジャム、ジンジャーティー）
文化・地元食材を活用した料理教室	簡単にできる生姜のレシピを知りたい。市内でも食べられるお店がほしい。女性としても生姜は興味が高い。	
文化・地元食材を活用した料理教室	特産品を使った参加型料理教室	
文化・地元食材を活用した料理教室	石積みの生姜畑での収穫体験・生産者によるお菓子作り、郷土料理体験もあわせて	
文化・地元食材を活用した料理教室	川俣木工芸の復活させ、活用した料理開発	
モノに絡んだ取り組み	い草を活用した商品開発	い草を使った製品をもっと作ったほうが良い
	い草を活用した商品開発	い草を建材に使用
	い草を活用した商品開発	子どもの紙粘土のように「い草粘土」
	い草を活用した商品開発	持ち運びできる「い草アロマ」でオシャレにリフレッシュ
	石橋をテーマにしたグッズ開発	アクアビーズで自分だけの橋のキーホルダーを作る
	石橋をテーマにしたグッズ開発	石垣や石橋のかたちのSDGsパッチ作り
	石橋をテーマにしたグッズ開発	おみくじを作る。それぞれの橋にまつわる内容で作成→その橋に行ってみたくなる
	石をテーマにしたグッズ開発	石をテーマにパワーストーンのお土産
	石をテーマにしたグッズ開発	石・コンクリートで小物（オブジェ、装飾タイル、アクセサリ）を創る
八代城御朱印	八代城は、400周年限定の御朱印を作成	
子供・学生に絡んだ取り組み	小学生に向けた教育機会の提供	小学校からの教育（八代市の小中学校で石橋の授業を必須に）
	小学生に向けた教育機会の提供	教育としての地域見学
	小学生に向けた教育機会の提供	夏休みの小学生の宿題のお手伝い
	子供向け紙芝居・かるた作成	子ども向けの読み聞かせ、紙芝居、カルタ
	夏休みの自由研究への提案	夏休みの自由研究のテーマに採用してもらう
	石橋づくり工作教室	石橋のクラフトキット工作教室（子供むけ）
	小学生絵葉書コンテスト	市内の小学生を対象にした絵葉書コンテストの開催
	子供による石橋づくりコンテスト	実際の石橋を創る。小学生、中学生クラス単位で取り組む（地元愛の醸成）（競う・表彰する）
	子供向け絵画コンテスト	小学生・写生（スケッチ）選手権 決勝会場として
	高校生との清掃イベント	清掃活動や高校生イベントなどをする
	工業系の学校によるジオラマづくり	高専、工業等、工作系の学校でジオラマを創る
	都市の小中学生の石橋博士、八代博士づくり	①東京・大阪など大都市、さらには北海道、東北等当地から離れているところの小中学生を対象に「八代博士」「八代大使」づくりproject。 夏休みや春休みを利用して、八代地域を知ってもらう各種event開催 ②同様に大学生のゼミの誘致 彼ら（同窓会）を通じて全国に情報発信 ③ポースカウト・ガールスカウト
日本遺産にまつわる劇の作成	子どもを中心とした劇をつくり、石工の想いを伝える	
日本遺産にまつわる劇の作成	関連する歴史、文化をテーマにした劇を創作するなど。	
他学校との交流	都市の大学生との合同ゼミ	
他学校との交流	薩摩など種山石工が活躍した地域との交流。小中学生のオンライン交流や郷土料理給食の交換体験。い草で作ったものをプレゼント。	

2. 参考資料～活用会議（ワークショップ）からの事業項目素案

カテゴリー	取組の名称	取組の概要
文化を体感する仕掛け	日本遺産×写真をテーマにした企画	季節を通じて美しいフォトスポットである事、カメラ愛好会の方々、旧道の魅力トレイルランの方々
	日本遺産×写真をテーマにした企画	フォトコンを行い、ポストカード作成。名刺サイズのコレクターカードの作成など。
	橋の下でのランチ・イベント企画	橋の下でコース料理とか地元の素朴な料理とか
	橋の下でのランチ・イベント企画	笠松橋でおにぎりランチ
	橋の下でのランチ・イベント企画	お城でヨガ
	橋の下でのランチ・イベント企画	笠松橋で音楽と食のイベント。トマトや鮎、生姜、い草を使ったフレンチやイタリアンを振る舞う。地元食材の提案
	橋の下でのランチ・イベント企画	八代の季節を感じる食材（お米、塩トマト、海の幸）を活かしたお弁当を笠松橋で楽しむツアー
	橋の下でのランチ・イベント企画	笠松橋の下で足湯を楽しみながらホットジンジャーを飲む
	橋の下でのランチ・イベント企画	野外レストラン等を開設した場合に集客をどうするか
	石橋・石教サミット	リモートでの会議、セミナー、シンポジウムなどを開催。
	石橋・石教サミット	全国の「石橋」さんを招待した、石橋さん大集合イベント
	石橋・石教サミット	世界の石橋サミット
	石橋・石教サミット	城・石垣サミット
	石の日の制定	毎月14日は石の日、8月4日は橋の日、と定め、全市民的ムーブメントをつくる。小学校で
	石の日の制定	記念日の設定 毎月14日は「石の日」 8月4日は「橋の日
	現代版石橋の再建	石橋づくり体験のためミニチュアの石橋を実際に作る体験。石橋の構造を知ると同時に昔の人の技術力の高さを体感。
	現代版石橋の再建	現代版の石橋を創る
	現代版石橋の再建	石橋作りプロジェクトとして、昔壊れた石橋の再生
	現代版石橋の再建	上塚館長に教えてもらい石橋を創る
	現代版石橋の再建	石のかんたん加工などのワークショップを開催（石グッズ）（石のコースター）
	現代版石橋の再建	石匠館で見学だけでなく、よりのことや石工の技に触れることができるワークショップ（石を割ったり、削ったりすることで、それぞれの性質の違いを学ぶ）
	イベント：BBQ大会	黒瀬公園上でのBBQ大会
	イベント：お城の水抜き	八代城跡にてお城の水抜きをして清掃活動・石垣を身近に感じ感謝する
	イベント：俳句コンテスト	石橋・石工・干拓の俳句、短歌コンペ
	イベント：フォトコンテスト	BEAUTIFUL BRIDGEコンテスト
	イベント：フォトコンテスト	My Town's Stone Work探し
	イベント：石橋観察	どこかひとつの橋の石の数を数えるクイズ
	イベント：ロックバラタシ	ロックバラタシを開催し石を積上げるアートへの聖地へ。地元の人なども巻き込み選手権などを開催
	イベント：ウォーキング	八代城周辺を回遊するウォーキング企画を開催。各所を回って点数を集めて、近隣の店で1杯コーヒー提供など。
	イベント：地元との交流会	万世橋での地元との交流会
	イベント：他イベントと連携	単体で開催されている「やつしろ船出浮き」を、日本遺産のストーリーと八代の歴史を絡めたかたちでPR
	イベント：他施設と連携	黒木止善館を利用したの体験教室
	イベント：他施設との連携	「緒方博士旧宅と石橋と川」を東大に絡めて
	イベント：日本遺産祭り	各地でお祭りを開催する事は出来ないか
	イベント：日本遺産祭り	日本遺産と一緒に祭りなどをする
	イベント：コスプレ	水島の周辺で古代の装束で漕艇大会とか、八代城跡で大名行列 コスプレイベント
	イベント：石橋キャラ弁	石橋をテーマとしたキャラ弁当を市民でSNSにUPしていく
	朝飯会の開催	毎月、第一日曜日、朝7：00～9：00集まった人たちに朝ご飯を食べる。 プレゼンターに対し、全力で応援するまた、応援者を紹介する。 コネをつくる。新しい何かを始めることを目的に
	橋守制度	ふるさと納税を利用して「橋守（はしもり）」制度をつくる 毎月継続寄付をもらって日本遺産の活用に使いたい
	農業などの収穫・育成体験	豊作物をイチから作る体験をしたい
農業などの収穫・育成体験	水島に橋を繋げて自然などと触れ合える活動をしたら良いと思う	
農業などの収穫・育成体験	田植え体験などして貰う	
農業などの収穫・育成体験	作る体験をしてみたい	
農業などの収穫・育成体験	い草の田植えをお年寄りから若い人まで体験できるようにする	
農業などの収穫・育成体験	イチから田植えなど色々な作物を育てる体験をしたい	
農業などの収穫・育成体験	い草の田植え体験などをやる	
ツアー造成やガイド育成	日本遺産ツアーの開催	日本遺産をめぐるツアーなど出来ないか
	日本遺産ツアーの開催	石工祭を設けてこれを巡るツアーを計画して市民の認識を高める。
	日本遺産ツアーの開催	ガイド案内人を活用したマイクロツーリズムの旅行商品化 (2000円/30分、旅行社10%/人、ガイド0円、観光タクシー)
	日本遺産ツアーの開催	東陽町一城下町一干拓地をつなぐには 1日で見られない事をメリットにできないか
	日本遺産ツアーの開催	プロの案内人が居た中でのツアーが楽しいので、ガイドの付きのツアーを開催
	日本遺産ツアーの開催	着地型旅行の催行、最終的にはインバウンド対応商品へ
	日本遺産ツアーの開催	サイクリングで巡るツアー ※ランニングでも可
	日本遺産ツアーの開催	石橋マニアになる旅(市議の堀さんが、「プラタモリ」などで取り上げてもらいたいですね、と提案されました。)
	日本遺産ツアーの開催	石橋マニアになろう
	日本遺産ツアーの開催	ツアーの中で地元の方、橋の建築に係ったご先祖がいる方から橋への愛着を聞く。
	日本遺産ツアーの開催	郷土芸能でのおもてなし
	石工の郷 子どもガイド育成	学校と連携、10時間程度の学習プログラムを作り市内全校で学習する。 学習の成果を活かしてガイドをさせる
	案内ガイドの育成	笠松橋以外の橋の案内が少なく、手入れが行き届いていないところもあるため、説明版の設置とともに、管理者が必要と思う。「捨り灯籠」も面白いのにもったいない。
	案内ガイドの育成	「水島」の歴史観光ツアー：万葉集に納められた2首にまつわる詳しいガイドが必要
	ナビ・回遊コースづくり	ドライブコースorサイクリングコースを作りたい。
ナビ・回遊コースづくり	石橋めぐりフットパスコースづくり	
ナビ・回遊コースづくり	ナビ、ガイドのアプリ開発	

2. 参考資料～活用会議（ワークショップ）からの事業項目素案

カテゴリー	取組の名称	取組の概要
プロモーションの仕掛け	SNSを活用した情報発信	フェイスブックで八代の歴史と文化を紹介している (今日は何の日?) (やつしろ風景遺産) (おいしいものの画像) など1300枚画像 ガイドの小ネタ帳としても使ってもらいたい。現在721人がフォロー中
	活用写真・情報の整理やロゴ等の統一	橋の下からカメラマンに写真を撮ってもらおう企画 (SNSでも同様の写真が複数上がっていた)
	活用写真・情報の整理やロゴ等の統一	石橋のポスターを作る際は、地元の人を入れて、生活感とスケール感が欲しい。
	活用写真・情報の整理やロゴ等の統一	くまモンと笠松橋の写真が良かった。パンフレットなどに活用できないか。石橋だけの写真だと味気ない。
	活用写真・情報の整理やロゴ等の統一	石橋の本・図鑑をつくる
	活用写真・情報の整理やロゴ等の統一	町全体でオリジナルロゴバッジ・パンフを持つ
	活用写真・情報の整理やロゴ等の統一	案内板・ポスターの作成 (文字を大きめにする=年齢が高い方対象)
	活用写真・情報の整理やロゴ等の統一	千拓前と千拓後の様子がわかる資料・MAPが必要
	文化財コンテンツの擬人化による地域活性化	似たような石橋も多いため、それぞれを表すキャッチフレーズをつける。(災害から何回も復活、天然、生活に密着 等)
	文化財コンテンツの擬人化による地域活性化	橋の文化財を擬人化⇒カード化⇒カード集め
	文化財コンテンツの擬人化による地域活性化	日本遺産に認定された文化財(笠松橋や鹿路橋など)を擬人化し、関連商品の販売やキャンペーンの実施を行い、交流人口の増加や商品販売による地域活性化を図る。 <例: 刀剣乱舞(刀剣の擬人化)、艦隊これくしょん(艦艇の擬人化)> 適用例 ①擬人化(キャラ作成)のコンテスト実施 ②商品の販売 ・八代市の物産館や石匠館などでしか販売をしないなど、八代市に来ないと手に入らないなどの工夫をする ③集めたいと思わせる仕掛けづくり(文化財を周遊させる仕掛け) ・カードやバッチなどを作り、文化財の写真を現地で撮影し、物産館で500円以上買うともらえる、また、街歩きのイベントに参加すると参加賞としてカードがもらえるといったリピーター(ファン)を獲得する工夫をする ④子どもにも親しみやすいようにキャラを活用 ・教材づくりなど
	ドローンを活用した情報整備	今後、日本遺産のPRを行うにあたり、コンテスト形式でドローンを活用した写真や動画を広く募集し、その素材を使ってPR動画作成やパンフレットの写真を作成するなど、PR素材として活用する
	ドローンを活用した情報整備	龍神社はドローンで撮影した動画などと相性が良い
	VR/ARを活用した情報整備	VRを使ってその場にいるかのような体験 ・コロナ過で移動制限がある中で春夏秋冬を体験できる ・46基を一日で回るのは大変なのでツアーをする前に回るコースを決めたり。
	VR/ARを活用した情報整備	各店舗へ向け(AR付)PRステッカー(ARを使用=若者にアプリを使って動画で紹介)を配布。 日本遺産登録を知らない人向け、観光客向け ステッカーを飲食店等に貼る 飲食店では日本遺産メニューの開発 八代農業高校の生徒さんが開発 若者・主婦層をターゲットに、各店舗で工夫した開発メニューを!!
VR/ARを活用した情報整備	石橋にいるようなVR体験(360°動画)	
メディアでの情報発信	「プラタモリ」、「タモリ倶楽部」、「TVチャンピオン」のテーマに	
メディアでの情報発信	映画等のロケ地(フィルムコミッション)	
案内・施設などの整備	フォトスポットの整備	現状、どこが日本遺産か分からないので、フォトスポットを作る(顔出しパネル、ARで) フォトスポットで観光地に(野尻写真場(世界大会出場・フォトスポットコンサルティング)) 近くに子供向け施設があるといかも!!
	フォトスポットの整備	写真に適した作品を撮り、フォトスポットとして紹介していく
	施設(石匠館など)の整備	東陽町にバックボーンのある施設を作れないか
	施設(石匠館など)の整備	石匠館ではもっと体験コーナーを増やし、さらに子供たちの興味を高めることができる。
	施設(石匠館など)の整備	石匠館はカフェをセルフでも利用再開
	施設(案内版など)の整備	それぞれの場所に駐車場が欲しい
	施設(案内版など)の整備	郡築もう少しキレイにして行きやすくして欲しい(道路整備とかして)
	施設(案内版など)の整備	市民に浸透するよう、統一の看板整備や、市の封筒などの印刷物にロゴマークを入れる。
	施設(案内版など)の整備	目立つ看板を作る
	施設(案内版など)の整備	観光案内板設置(多言語)、QRコード、音声AR、持続可能
	施設(カフェなど)の整備	カフェを作る 中にたたみを作って
	施設(カフェなど)の整備	観光地のそばに手軽に行ける飲食店などを作る事は出来ないか
	施設(カフェなど)の整備	文化財の近くにレストランやカフェなどは出来ないか
	施設(カフェなど)の整備	スポットの近くで遺産を見ながら食べる施設を作る
	施設(カフェなど)の整備	屋台などを準備する
施設(新たな施設)の整備	石橋をイルミネーションする	
施設(新たな施設)の整備	もうちょっと観光地を増やす事は出来ないか	
施設(新たな施設)の整備	スポットの整備として川遊びのスポットを整備。石切のスポット案内。橋が見えるレストラン、石風呂温泉など。	
保全整備のための取り組み	清掃活動・メンテナンス活動	ボランティアの清掃
	清掃活動・メンテナンス活動	地域ボランティアによる清掃活動と地域観光ガイド



熊本県八代市
八代を創造した石工たちの軌跡
ブランディング戦略

発行年月／令和3年3月

八代市日本遺産活用協議会
(事務局：八代市経済文化交流部文化振興課)
TEL 0965-33-4533